



6月 ほけんだより

R6 年特別号
赤阪小学校
保健室

「思春期のこころとからだの変化」について学習しました！

例年、5年生では臨海学校前に、「思春期のこころとからだの変化」について、男女別に分かれて保健指導を行っています。今年度は、6/12(水)の体重測定後、女子児童への指導は保健室の担当が、男子児童への指導は臨海学校引率者の男性教諭が行いました。

女の子への指導

「初経(月経)指導について」

初経(月経)のしくみや、手当ての方法、生理用品の使い方について学習しました。初経がくるタイミングや、PMS(月経前の精神的・身体的な不調)については個人差があるということを伝えました。子どもたちは初めて聞くことが多くたくさん質問もしてくれました。今年度より、3～6年生が使用する女子トイレには生理用ナプキンを設置しています。お家から持ってくるのが一番ですが、緊急時の場合は使用しても大丈夫です。

また、生理用品の試供品を配布しています。臨海学校説明会でもお伝えしたように、初経の有無に関わらず臨海学校では持ってくるようにお願いします。冊子も入っていますので、お家でもお子さんと一緒に読んでみてください。

男の子への指導

「精通指導について」

からだのしくみや、射精のしくみについて学習しました。精通がくるタイミングは個人差があること、射精をしたときの下着の洗い方について伝えました。

そして、友達の成長をからかったり、人のプライベートゾーンを勝手に触ったりしてはいけないことも伝えました。思春期は、個人差が大きい時期ですので、自分のからだも、友達のからだも気になって当たり前です。お風呂などで、友達のからだをジロジロ見たり、からかったりせず、マナーを守って楽しい臨海学校にしていきたいですね。



初経(月経)・精通については、4年生の保健の単元「体の発育と健康」で学習していますが、今回はより具体的に、からだの変化が起こったときの対応やこころの変化について主に取りあげています。ぜひこの機会に、ご家庭でもお子さまのからだの変化やそれに伴う準備などについてお話ししていただければと思います。

性に関する指導は「いのちに関わる教育」です。学校と家庭で協力して行っていくことが大切だと考えております。授業の内容などでご質問などあれば、いつでも保健室の担当までご相談ください。